

景気見通し調査結果報告書

調査期間 平成 28 年 6 月

小 松 商 工 会 議 所

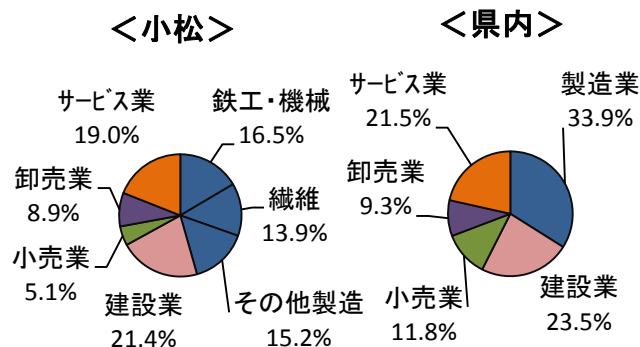
中 小 企 業 相 談 所

【調査対象】

小松商工会議所 議員・評議員企業 225社

回収率 79企業（回収率 35.1%）

業種	小松	県内
鉄工・機械	13	150
繊維	11	
その他製造	12	
建設業	17	104
小売業	4	52
卸売業	7	41
サービス業(運輸含む)	15	95
合計	79	442



景況・業況の動向

【主要な表現について】

※業況判断 … 調査対象企業が自らの業績に下した判断

※DI 値 … D. I(デフュージョン・インデックス)とは企業の景況感を示す指数
「好転」の割合から「悪化」の割合を差し引いた値(無回答を除く)

※前 期 … 平成 27 年度第 4 四半期(平成 28 年 1 月～3 月)

今 期 … 平成 28 年度第 1 四半期(平成 28 年 4 月～6 月、但し 6 月は見込み)

来 期 … 平成 28 年度第 2 四半期(平成 28 年 7 月～9 月)

【各項目別の DI 値の意味について】

- (1)景 況 感 … DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (2)売 上 高 … DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- (3)売上単価 … DI 値がプラスなら「上昇」を、マイナスなら「低下」を表す。
- (4)資金繰り … DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (5)採算性(経常利益) … DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。

(1)-1 貴企業の景況感

(単位:社)

	鉄工・機械		繊維		その他製造		建設業		小売業		卸売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
好 調	1	3	2	1	2	2	1	1	0	0	1	1	0	2
不 変	3	7	6	4	10	9	10	10	2	3	4	4	13	10
悪 化	9	3	3	6	0	0	5	5	2	1	2	1	2	3
無回答						1	1	1				1		
総 計	13		11		12		17		4		7		15	

Q「景況・業況の動向」の項目における「景況感判断」に関する理由

観光バス増産のため（製造業）
受注拡大（製造業）
スポットの注文が増えたため（製造業）
国内需要の増加(オリンピック効果他)等から（製造業）
中国の影響による世界経済の低迷（製造業）
円高により輸出減少、単価ダウン。国内市場(百貨店)益々悪い（製造業）
日本の経済環境は国内単独での判断は出来ず、海外の影響が多大であり、昨今の世界環境を見聞すると景況感が良くなる要素が見当たらない（製造業）
工作機械は今まで良かったが、少し悪くなってきている（製造業）
建設機械の反応が悪い（製造業）
現在の受注状況及び、関係取引先とのヒアリングから（製造業）
当社親企業からの注文が日毎に減ってきている（製造業）
企業間格差は多少あるが、企業間の在庫調整やこれまでの駆け込み需要などの反動による生産の落ち込みで、売上減少になっている（製造業）
受注状況に特段の変化なし（製造業）
季節的要因による売上の増減のみ。景況感については不変（製造業）
国内の衣料消費の低迷（製造業）
受注数量（製造業）
住宅着工件数は減少傾向であるが、減少率を勘かすると、そこまでの売上落ち込みはない事から (製造業)
消費税を上げてから景気は急速に冷え込み、低迷状態が続いている。景気を過熱させることができない以上、消費税UPは延期(中止)が妥当と考える（製造業）
消費税の関係で、設備投資が減速した（製造業）
仕事量の不足（建設業）
受注高は順調ではあるが、競争が激しく利益率は厳しい。今後新幹線発注に伴い、人手不足や生コン供給に不安あり（建設業）
公共工事の減少（建設業）
小松エリアの公共工事が非常に少ない（建設業）
公共事業の発注が遅れそう（建設業）
公共事業発注の増加時期（建設業）
季節(年度末)要因による（建設業）
消費税絡み（建設業）
受注単価がのびない（建設業）
一般的に物やお金が動いていない（建設業）
大型店進出（小売業）
単価の高い商品の販売可能期間が終わったため、売上高は減少したように思うが、他の物に関しては変化を感じないため（小売業）
金沢まで新幹線は来たけれど、小松地区恩恵は少ないように思われる、金沢能登のみ潤っている (小売・卸売業)
金沢、富山での観光客の増加（卸売業）
主力需要業界の低迷が続いている（卸売業）
夏期(7~9月)は冷房需要が(4~6月)より増加する見込みのため。やや業績は上向くと判断される (サービス業)
前期より順調に物量が安定してきた。燃料価格も低価格で推移している（サービス業）
定型的な四半期毎の波があり、四半期毎に比較しても本来の姿は見えてこない (毎月同じ線となってしまう)（サービス業）
特に感じないが、物価全体が上がり、仕入も上がった（サービス業）

(1)-2 DI値

(単位:DI)

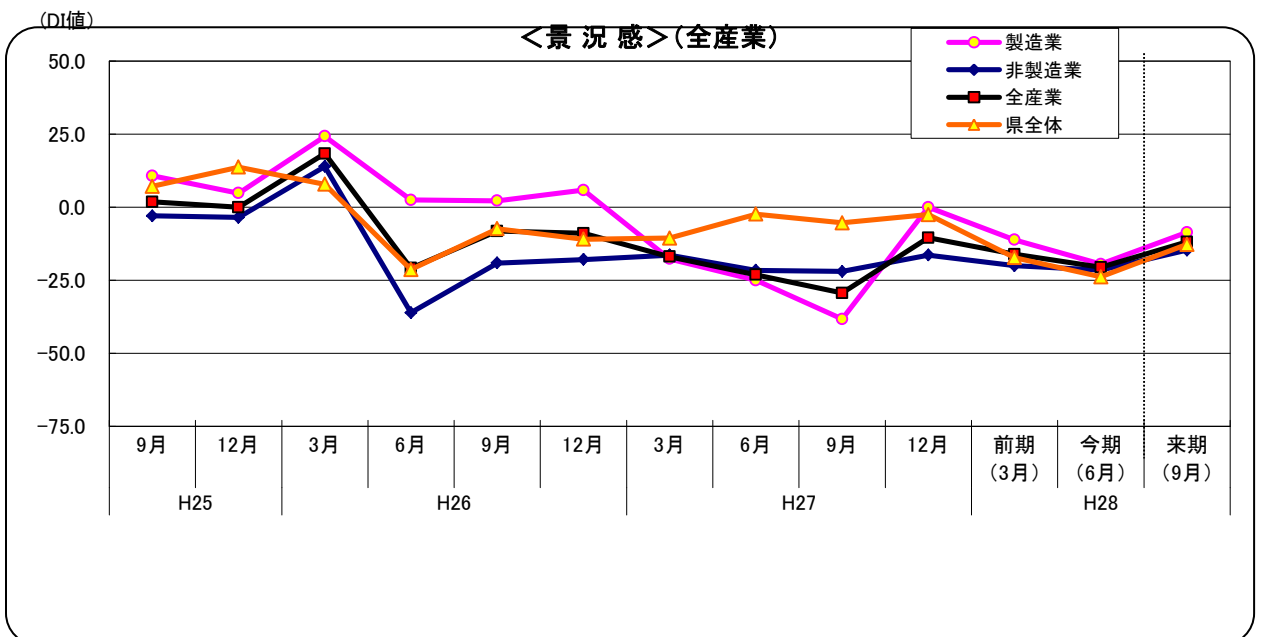
		前 期		今 期		来 期	
		小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	鉄工・機械	0.0	—	▲ 61.5	—	0.0	
	繊維	▲ 25.0	—	▲ 9.1	—	▲ 45.5	
	その他製造	▲ 20.0	—	16.7	—	18.2	
	製造計	▲ 11.1	▲ 17.7	▲ 19.4	▲ 20.9	▲ 8.6	▲ 10.3
非製造業	建設業	▲ 15.4	▲ 12.9	▲ 25.0	▲ 32.4	▲ 25.0	▲ 12.2
	小売業	▲ 83.3	▲ 32.1	▲ 50.0	▲ 37.3	▲ 25.0	▲ 27.5
	卸売業	▲ 12.5	▲ 26.7	▲ 14.3	▲ 31.7	0.0	▲ 15.0
	サービス業(運輸含む)	▲ 5.6	▲ 9.3	▲ 13.3	▲ 8.4	▲ 6.7	▲ 7.7
	非製造計	▲ 20.0	▲ 16.9	▲ 21.4	▲ 25.3	▲ 14.6	▲ 13.9
全 体		▲ 16.0	▲ 17.2	▲ 20.5	▲ 23.8	▲ 11.8	▲ 12.7
改善予測		▲ 14.8	▲ 3.4	8.7	11.1	—	—

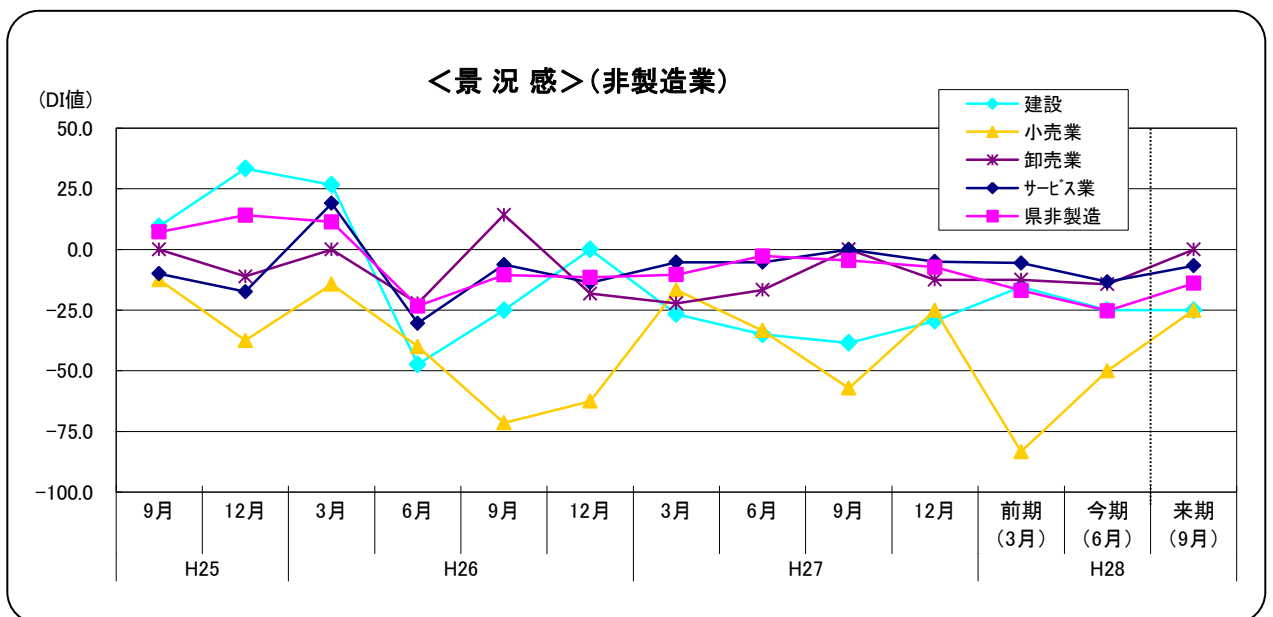
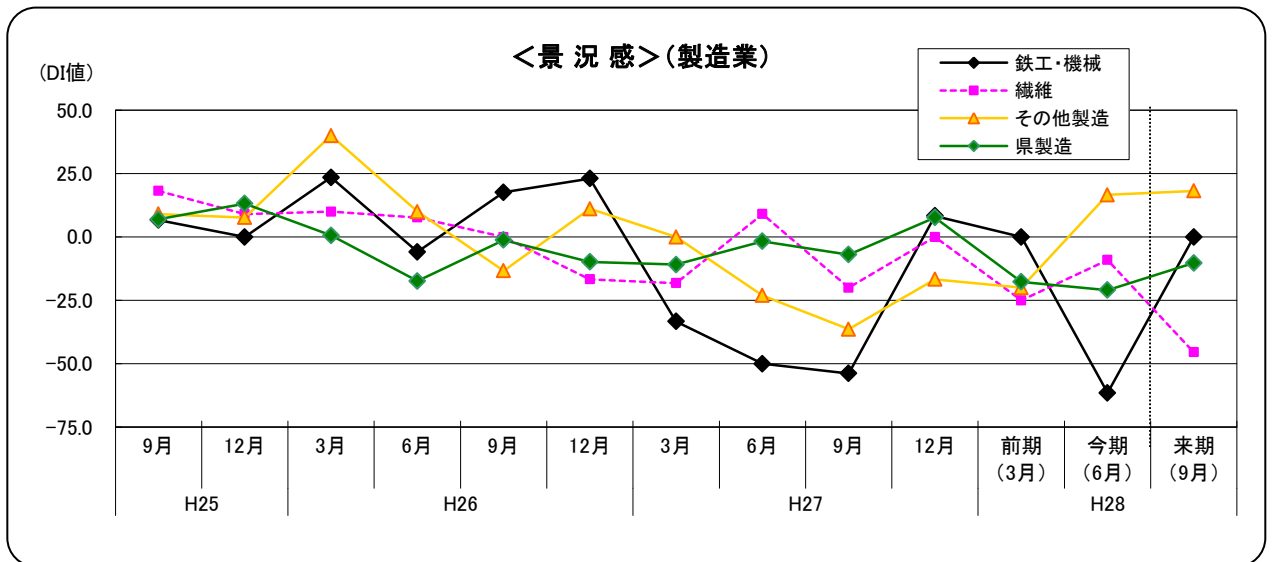
※改善予測（「来期」見通しから「今期」を差し引いた値、プラスの場合は今期より来期の方が上昇するという予測）

製造業については、鉄工・機械では前期0.0ポイントだったが、今期は▲61.5ポイントと悪化、但し来期は0.0ポイントと回復の見通しを示している。繊維においても前期が▲25.0ポイントであったが、今期は▲9.1ポイントと回復傾向となったが、来期は▲45.5ポイントと悪化の見通しを示している。その他製造業においては、前期から今期にかけて回復となり、更に来期も回復見込みであることが伺える。

非製造業については、建設業が前期▲15.4ポイントから今期▲25.0ポイントと悪化傾向のまま、来期も▲25.0ポイントと横ばいの予測が伺える。小売については今期▲50.0ポイント、来期▲25.0ポイントとやや回復、卸売は前期よりやや悪化となっているが、来期0.0ポイント回復、サービス業も7.7ポイント悪化となっており、来期は5.6ポイント回復の見込みではあるが、総じて依然厳しい状況が続いていることが伺える。

(1)-3 年代別の推移





(単位:DI)

区分	今期(H28.6)			来期(H28.9)			備考
	小松地区	北陸三県	全国	小松地区	北陸三県	全国	
製造業	▲ 19.4	8	0	▲ 8.6	3	▲ 2	36社
非製造業	▲ 21.4	7	8	▲ 14.6	▲ 3	4	43社
全体	▲ 20.5	7	4	▲ 11.8	▲ 1	2	79社

※北陸三県並びに全国の数値は 日銀金沢支店・短観(全国企業短期経済観測調査)より

(2)－(5)売上高、売上単価、資金繰り、採算性(経常利益) DI一覧表

今期(H28年度第1四半期)の状況

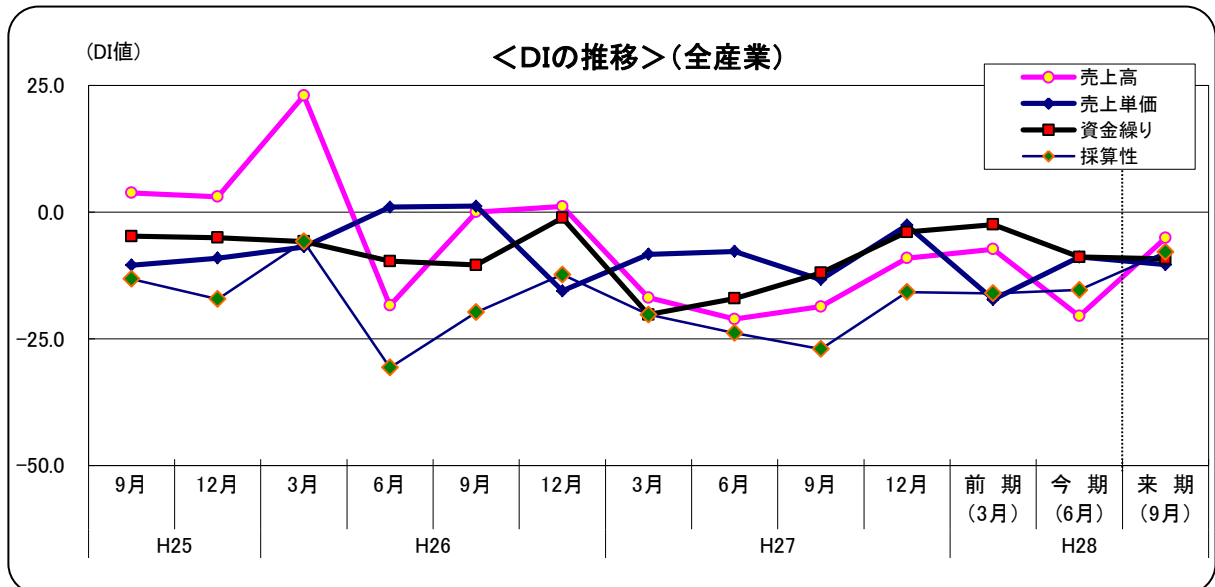
(単位:DI)

業種	売上高		売上単価		資金繰り		採算性	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	▲ 14.3	▲ 17.6	▲ 2.8	▲ 6.7	▲ 11.1	▲ 6.7	▲ 14.3	▲ 16.4
建設業	▲ 29.4	▲ 34.6	▲ 17.6	▲ 17.3	▲ 17.6	▲ 8.7	▲ 23.5	▲ 26.0
小売業	▲ 75.0	▲ 42.3	▲ 25.0	▲ 26.9	0.0	▲ 11.5	▲ 25.0	▲ 25.0
卸売業	▲ 28.6	▲ 41.5	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	▲ 14.6
サービス業	▲ 6.7	▲ 12.0	▲ 13.3	▲ 13.6	0.0	5.5	▲ 13.3	▲ 7.5
全体	▲ 20.5	▲ 25.6	▲ 8.9	▲ 12.4	▲ 8.9	▲ 4.3	▲ 15.4	▲ 17.7

来期(H28年度第2四半期)の見通

(単位:DI)

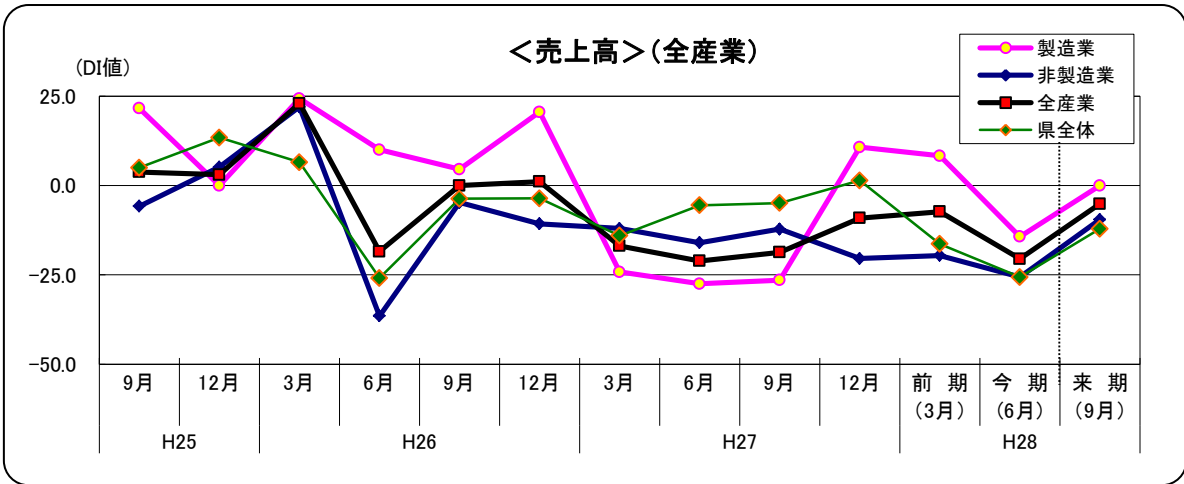
業種	売上高		売上単価		資金繰り		採算性	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	0.0	▲ 9.5	▲ 2.9	▲ 4.1	▲ 5.9	▲ 6.2	▲ 5.9	▲ 9.8
建設業	▲ 35.3	▲ 13.9	▲ 29.4	▲ 15.8	▲ 23.5	▲ 12.9	▲ 17.6	▲ 13.9
小売業	0.0	▲ 30.8	0.0	▲ 17.3	▲ 25.0	▲ 15.4	▲ 25.0	▲ 25.0
卸売業	0.0	▲ 10.0	▲ 16.7	▲ 5.0	16.7	0.0	16.7	▲ 15.0
サービス業	13.3	▲ 4.5	▲ 6.7	▲ 6.9	▲ 6.7	0.0	▲ 6.7	▲ 4.5
全体	▲ 5.1	▲ 12.1	▲ 10.4	▲ 9.1	▲ 9.2	▲ 7.0	▲ 7.9	▲ 12.0
改善予測 (今回)	15.4	13.5	▲ 1.5	3.3	0.3	▲ 2.7	7.5	5.7
改善予測 (H28.3)	▲ 20.9	▲ 3.3	4.3	▲ 0.6	▲ 11.8	▲ 3.7	▲ 8.7	▲ 2.2
改善予測 (H27.12)	▲ 10.9	▲ 22.1	▲ 10.7	▲ 4.9	▲ 4.2	▲ 6.6	3.5	▲ 14.8



(2) 売上高

(単位:DI)

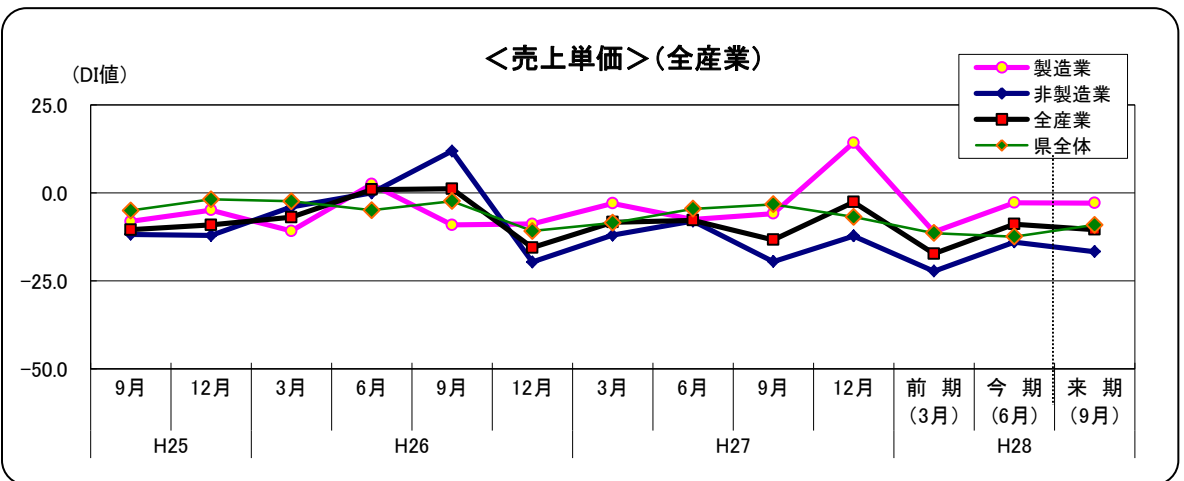
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	7.7	▲ 36.4	25.0	0.0	▲ 35.3	0.0	0.0	13.3	▲ 9.5	▲ 5.1	▲ 12.1
今期	▲ 53.8	0.0	18.2	▲ 14.3	▲ 29.4	▲ 75.0	▲ 28.6	▲ 6.7	▲ 25.6	▲ 20.5	▲ 25.6
前期	22.2	▲ 12.5	0.0	8.3	▲ 14.3	▲ 33.3	▲ 12.5	▲ 22.2	▲ 19.6	▲ 7.3	▲ 16.4



(3) 売上単価

(単位:DI)

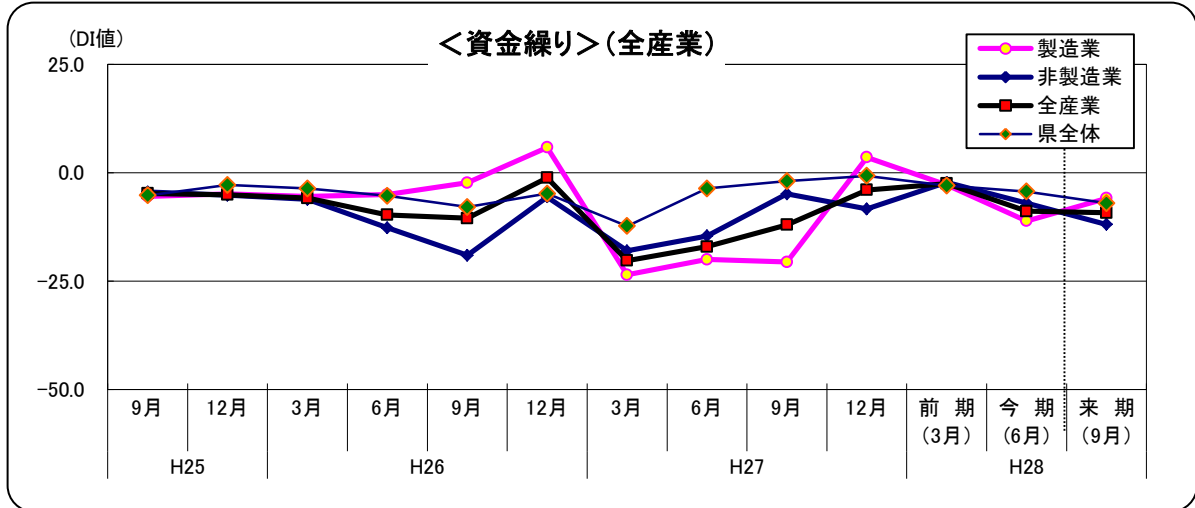
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	▲ 15.4	9.1	0.0	▲ 2.9	▲ 29.4	0.0	▲ 16.7	▲ 6.7	▲ 16.7	▲ 10.4	▲ 9.1
今期	▲ 15.4	0.0	8.3	▲ 2.8	▲ 17.6	▲ 25.0	0.0	▲ 13.3	▲ 14.0	▲ 8.9	▲ 12.4
前期	▲ 16.7	12.5	▲ 20.0	▲ 11.1	▲ 28.6	▲ 33.3	0.0	▲ 23.5	▲ 22.2	▲ 17.3	▲ 11.4



(4) 資金繰り

(単位:DI)

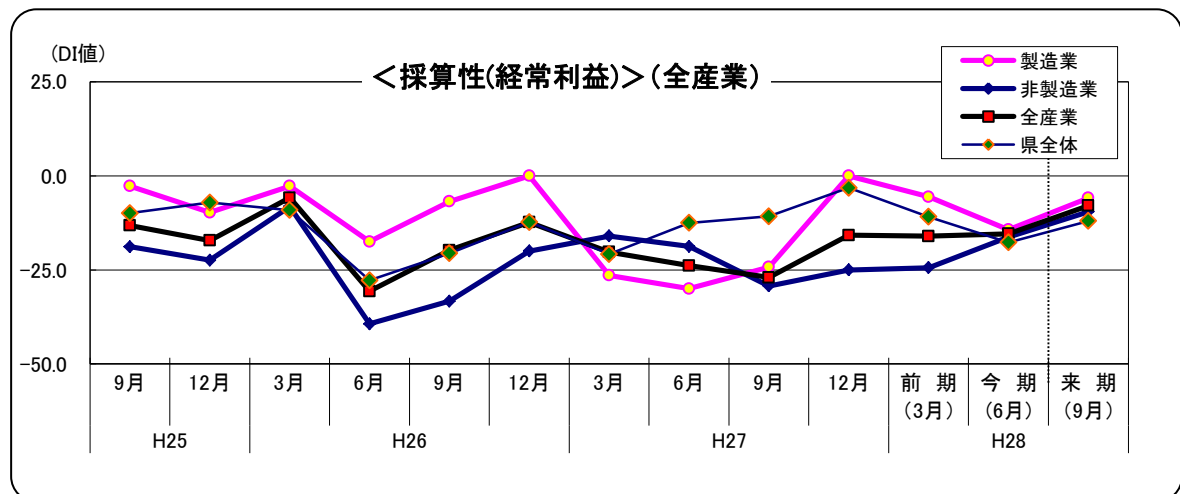
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	▲ 8.3	▲ 18.2	9.1	▲ 5.9	▲ 23.5	▲ 25.0	16.7	▲ 6.7	▲ 11.9	▲ 9.2	▲ 7.0
今期	▲ 38.5	▲ 9.1	16.7	▲ 11.1	▲ 17.6	0.0	0.0	0.0	▲ 7.0	▲ 8.9	▲ 4.3
前期	0.0	0.0	▲ 10.0	▲ 2.8	0.0	▲ 16.7	0.0	0.0	▲ 2.2	▲ 2.5	▲ 2.9



(5) 採算性(経常利益)

(単位:DI)

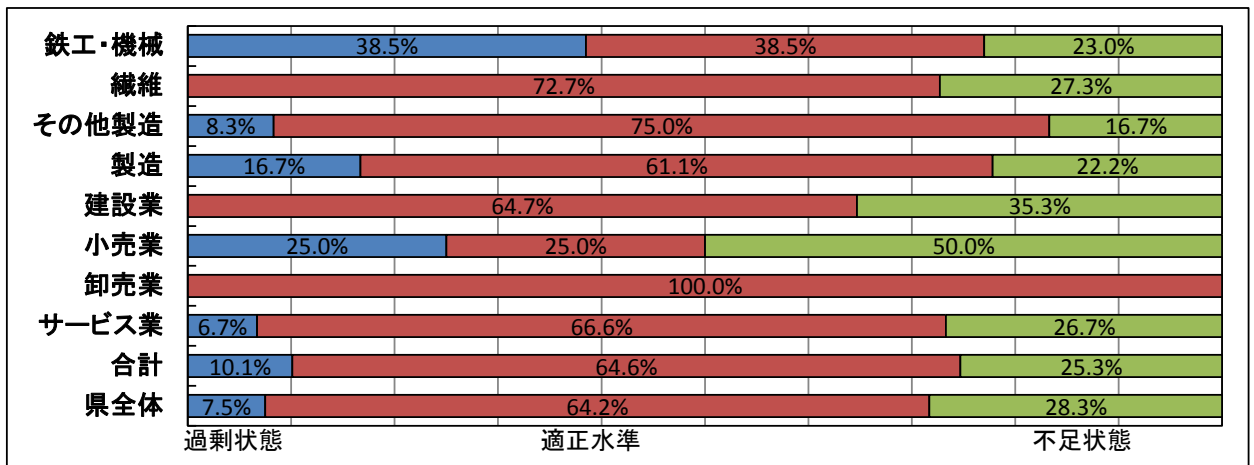
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	▲ 8.3	▲ 9.1	0.0	▲ 5.9	▲ 17.6	▲ 25.0	16.7	▲ 6.7	▲ 9.5	▲ 7.9	▲ 12.0
今期	▲ 58.3	0.0	16.7	▲ 14.3	▲ 23.5	▲ 25.0	0.0	▲ 13.3	▲ 16.3	▲ 15.4	▲ 17.7
前期	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 5.6	▲ 21.4	▲ 33.3	0.0	▲ 35.3	▲ 24.4	▲ 16.0	▲ 10.9



雇用情勢

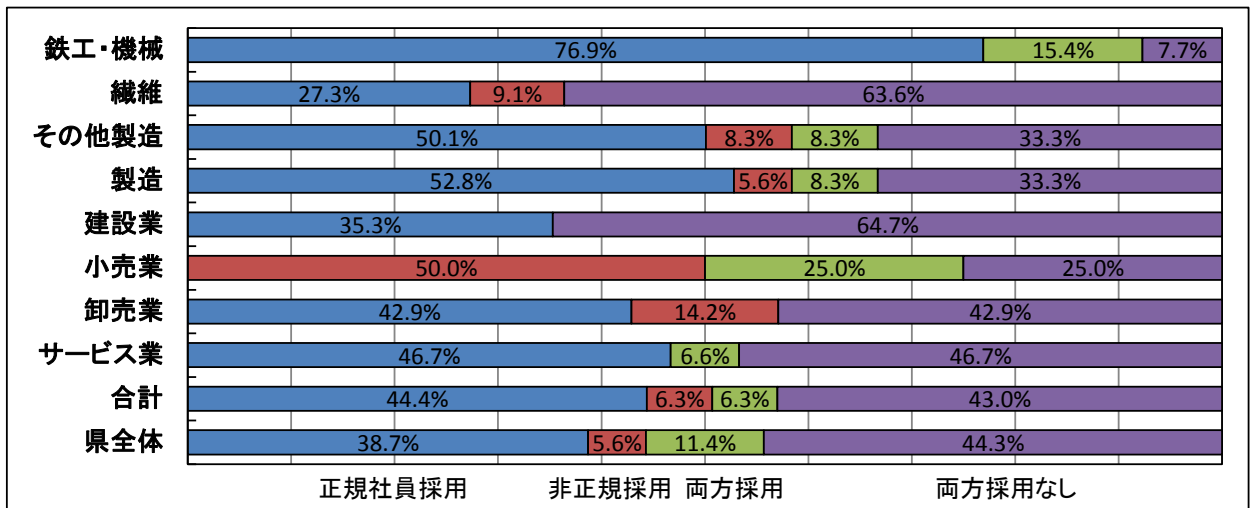
1. 現在の雇用状況については、どの状態と思われますか。

	過剰状態		適正水準		不足状態	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	38.5%		38.5%		23.0%	
繊維	0.0%		72.7%		27.3%	
その他製造	8.3%		75.0%		16.7%	
製造業	16.7%	13.6%	61.1%	65.3%	22.2%	21.1%
建設業	0.0%	3.8%	64.7%	62.5%	35.3%	33.7%
小売業	25.0%	7.7%	25.0%	61.5%	50.0%	30.8%
卸売業	0.0%	2.4%	100.0%	82.9%	0.0%	14.6%
サービス業(運輸含む)	6.7%	4.3%	66.6%	57.4%	26.7%	38.3%
全体	10.1%	7.5%	64.6%	64.2%	25.3%	28.3%



2. 今期(平成 28 年 4 月以降)に社員の採用を行ないましたか。

	正規社員採用		非正規社員採用		両方を採用		両方の採用なし	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	76.9%		0.0%		15.4%		7.7%	
繊維	27.3%		9.1%		0.0%		63.6%	
その他製造	50.1%		8.3%		8.3%		33.3%	
製造業	52.8%	48.6%	5.6%	4.7%	8.3%	12.2%	33.3%	34.5%
建設業	35.3%	30.3%	0.0%	3.0%	0.0%	2.0%	64.7%	64.6%
小売業	0.0%	17.6%	50.0%	11.8%	25.0%	13.7%	25.0%	56.9%
卸売業	42.9%	61.0%	14.2%	2.4%	0.0%	7.3%	42.9%	29.3%
サービス業(運輸含む)	46.7%	33.7%	0.0%	7.6%	6.6%	20.7%	46.7%	38.0%
全体	44.4%	38.7%	6.3%	5.6%	6.3%	11.4%	43.0%	44.3%



Q「雇用情勢」の項目における理由、意見

① 正規社員を採用した

将来を見据え、年代構成のバランス確保（製造業）
景気が良かった為と、全体的に年齢が上がっており平均年齢を下げる為、人を増やした（製造業）
主として退職者補充（製造業）
将来の労働力確保（製造業）
今後、人材不足が懸念されるため（製造業）
営業力強化のため（製造業）
定期学卒採用（製造業）
固定費はかかるが、投資と思って採用した（製造業）
ネック工程解消の為の人員補充（製造業）
人材の確保・育成のため（製造業）
売上増のため（製造業）
社員が退職するため（建設業）
毎期採用方針による（卸売業）
一人退職したため、増員（サービス業）
当社の場合、女子社員の就労状況が不安定で、雇用の見通しがはっきりせず困っている (サービス業)
年齢構成の是正（サービス業）

② 非正規社員を採用した

社会保険が重荷になる（小売業）
人員の不足（製造業）
来月後半から一部増える部品があるため（製造業）

③ 正規社員、非正規社員の両方を採用した

バスの増産に備え派遣社員の採用(日系ブラジルの方が多)（製造業）
団塊世代の定年退職に伴う、人員の定期補充、技能・技術保有の人材補充（製造業）
団塊世代の退職による人材不足、又前記の人達の在職中に雇用した人たちが、中々定着してくれないため（小売業）
退職者の補充及び作業量増に対応のため（サービス業）

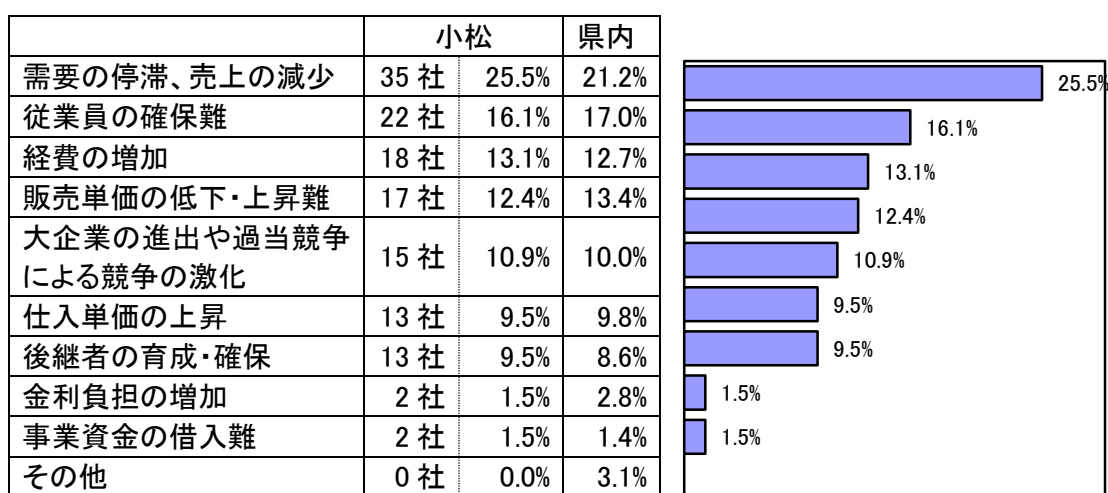
④ どちらも採用しなかった

新卒(高卒)を募集したが、残念ながら応募がなかった (製造業)
学卒がとれなかった (製造業)
退職する人がいなかったため (製造業)
売上があがらないため (製造業)
現状では、増員できない (製造業)
将来的に売上増加は見込みにくい (建設業)
募集したが、年齢があわず採用に至らなかった (建設業)
いないから (建設業)
若い人が入ってこない。高齢化している。(建設業)
売上が伸び悩み、構造的に不況業種 (小売・卸売業)
職人がいない (サービス業)

※雇用全般に関する意見

採用したいと思っても人が来ない。人材確保は常に厳しい (小売業)
担い手確保につき、少子化や大手企業による地元就職者減等、採用が困難 (建設業)

今期(第1四半期)直面している経営上の問題点(複数回答可)



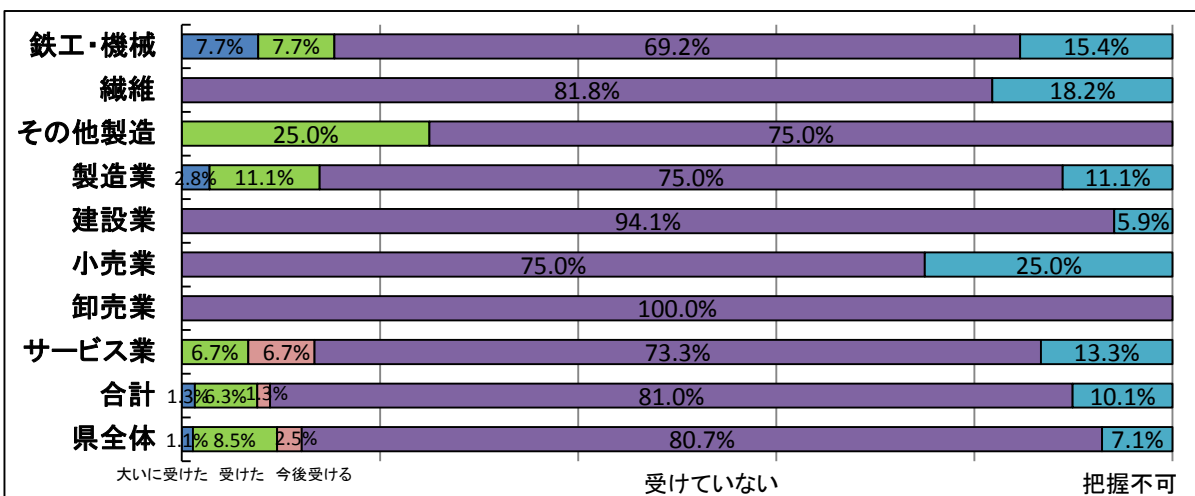
Q具体的な問題点

パートから正社員への切替え及び昇給等により人件費の増加、更に熟練社員の育成が課題 (製造業)
人手不足になると思うから (製造業)
高齢化が顕著 (製造業)
人員増加に伴う固定費の増加 (製造業)
時間外労働時間の拡大、36協定の範囲を守るのが難しい (製造業)
増産に向け社外より応援確保に苦労している (製造業)
収益性の確保が徐々に難しくなりつつある (製造業)
質の確保が難しい (製造業)
低価格住宅建築への移行(粘土瓦を含む、家屋パーツの低コスト化) (製造業)
全体的に不景気だと価格を下げる業者が出てくる (製造業)
建機・工作機械関係低下 (製造業)
材料費が数点、値上がりの通知をして来ている (製造業)
全体的に経費に関するものが値上げしている (製造業)

採算性の確保（製造業）
社員の高齢化（建設業）
技術者不足（建設業）
野外作業員の確保が極めて困難（建設業）
公共事業の片寄った発注のため、競争激化（建設業）
公共工事が少ないため、売上の減少となっている（建設業）
公共事業が減り民間事業も競争が激しい（建設業）
若年層の確保（建設業）
従業員のケガ、病気が重なり、復帰の見通しがたたない（小売業）
イオンが小松にオープンすると尚大変（小売、卸売業）
需要の停滞長期化見込み（卸売業）
エネルギー業界での自由化の促進により、事業での利益確保が困難となっている故（サービス業）
車両老朽化により、修理費が増大している（サービス業）
販売先との単価交渉が進まない（サービス業）

熊本地震発生に伴う貴社への影響について

	大いに受けた		受けた		今後、受ける		受けていない		把握不可	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	7.7%		7.7%		0.0%		69.2%		15.4%	
繊維	0.0%		0.0%		0.0%		81.8%		18.2%	
その他製造	0.0%		25.0%		0.0%		75.0%		0.0%	
製造業	2.8%	1.3%	11.1%	15.3%	0.0%	2.0%	75.0%	72.7%	11.1%	8.7%
建設業	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	3.0%	94.1%	92.1%	5.9%	4.0%
小売業	0.0%	3.8%	0.0%	3.8%	0.0%	3.8%	75.0%	75.0%	25.0%	13.5%
卸売業	0.0%	0.0%	0.0%	15.0%	0.0%	5.0%	100.0%	80.0%	0.0%	0.0%
サービス業(運輸含む)	0.0%	1.1%	6.7%	5.4%	6.7%	1.1%	73.3%	84.9%	13.3%	7.5%
全体	1.3%	1.1%	6.3%	8.5%	1.3%	2.5%	81.0%	80.7%	10.1%	7.1%



Q「熊本地震発生に伴う影響」の項目における具体的な状況、復旧・復興等への意見
具体的な状況

エレベーターの修理・点検に追われた（製造業）
一部サプライヤーからの部品供給ストップ（製造業）
発生後、一時営業活動がストップしたが現在では、通常どおり（製造業）
仕入先の用紙(一社)が、不足の影響が心配される（製造業）
取引先がないので、直接は受けない（製造業）
一部仕入先が被災（製造業）
旅行業のため、九州地方そのもののお客様の足が遠のく（サービス業）
災害復興需要が今後出てくるとされる（サービス業）

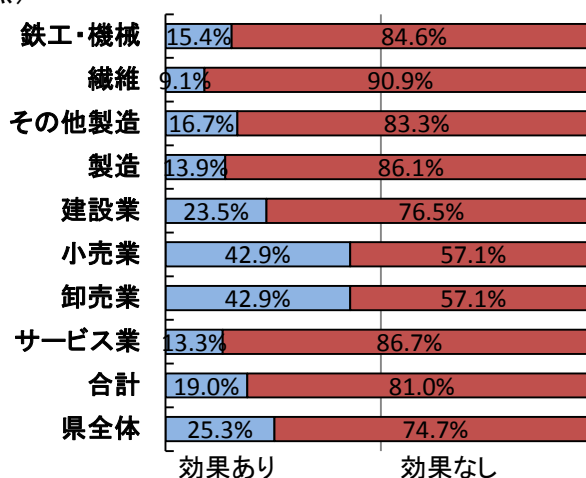
復旧・復興等への意見

早く復興することを願っている（製造業）
公的機関の早急の資金援助対策を要望したい（製造業）
商工会議所が特産品をドンと購入(割高で仕入)それを全員に販売する。少しお役にたてると思う (製造業)
会議所等で義援金のとりまとめや、働き掛けも検討されては（製造業）
自然災害等による復旧、復興は国の責任に於いて、積極的に行って頂きたい（サービス業）

北陸新幹線開業に伴う影響について(追跡調査)

①北陸新幹線開業の影響(自社における効果の有無)

	効果あり		効果なし	
	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	15.4%		84.6%	
繊維	9.1%		90.9%	
その他製造	16.7%		83.3%	
製造業	13.9%	25.0%	86.1%	75.0%
建設業	23.5%	12.6%	76.5%	87.4%
小売業	42.9%	21.6%	57.1%	78.4%
卸売業	42.9%	34.1%	57.1%	65.9%
サービス業(運輸含む)	13.3%	38.5%	86.7%	61.5%
全体	19.0%	25.3%	81.0%	74.7%



Q「北陸新幹線開業に伴う影響(自社)」の項目における具体的な意見

開業効果あり

金沢での売上増大（製造業）
今すぐ影響はないが、今後出てくるかも（製造業）
観光客の増加により、仕事量(当社)が増加してものが見受けられた（製造業）
景気の底上げ効果はある（製造業）
北関東・東北方面への営業出張が新幹線利用で便利になった（製造業）
関東近隣のお客様が日帰出張可能となり増加傾向になった（製造業）
温泉旅館の改修工事が多かった（建設業）
建設工事の増加(開業前)（建設業）
開業当初、改修工事が増えた（建設業）

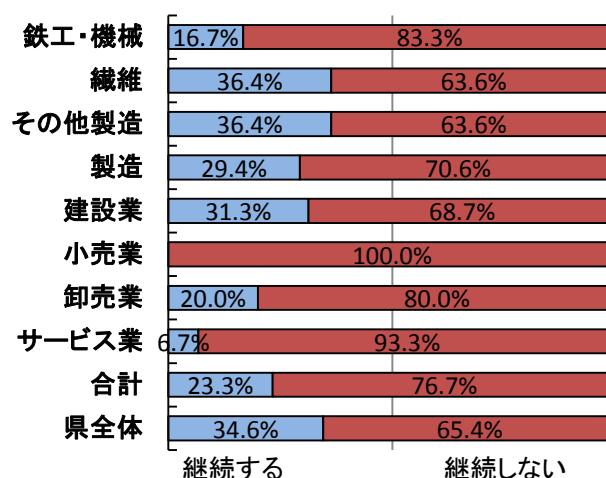
金沢の支店のみ好調（小売・卸売業）
観光土産品売上増加に伴う原材料出荷増（卸売業）
御菓子類の配送依頼が増大している（サービス業）
関東・東北方面のお客様が増大（サービス業）

開業効果なし

業種的にも地域的にも効果はなし（製造業）
殆ど関連する仕事にむすびつかない（製造業）
地元企業が工事受注できない（建設業）
かえって悪い。金沢に行ってしまう（小売業）

②当地における開業効果の継続について

	継続する		継続しない	
	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	16.7%		83.3%	
繊維	36.4%		63.6%	
その他製造	36.4%		63.6%	
製造業	29.4%	35.5%	70.6%	64.5%
建設業	31.3%	31.6%	68.7%	68.4%
小売業	0.0%	25.0%	100.0%	75.0%
卸売業	20.0%	33.3%	80.0%	66.7%
サービス業(運輸含む)	6.7%	42.0%	93.3%	58.0%
全体	23.3%	34.6%	76.7%	65.4%



Q「北陸新幹線開業に伴う影響(地域)」の項目における具体的な意見

継続効果あり

観光地における観光客の増加（製造業）
これから効果が少しずつ出ると思う（製造業）
当地においては向上すると思われる（製造業）
東京からの営業マンが飛行機と電車の2本を選択できる余裕が広がった（製造業）
温泉旅館の改修工事予定がある（建設業）
石川県は金沢を中心に引き続き交流人口の増が見込まれる（建設業）
観光客増加による（建設業）
陸、海、空の交通アクセスを利用した観光ビジネスが旺盛になるだろう（サービス業）
県が主体となって引き続き「新規部門」を模索して欲しい（製造業）

継続効果なし

金沢から小松のアクセスが良くない（製造業）
具体的には何もしていない(行政、会議所とも)（製造業）
開業効果とみられる新規建設は少ない様に思う（建設業）
同じく地元企業が工事受注できない（建設業）
やはり当地に新幹線が延伸開業しないと経済効果は難しい（サービス業）
金沢以西の着工が待たれる（サービス業）
まだわからない（サービス業）

■ その他、景気全般に関してご意見をお聞かせ下さい。

マイナス金利の導入、金融緩和をしても現状は景気が停滞しており、政治家は党利党略で、真剣に国民目線で検討されたし（製造業）
悪いとは聞かぬが、我社も少しずつ影響が出るかも（製造業）
製造業では、バス、トラック業界以外は沈んでいる（製造業）
消費の伸び悩みが顕著である（製造業）
景気全般としては決しておもしろくない。衣料全般に不振（製造業）
安定が続く（製造業）
外部の環境の変化による先行不透明感ある（製造業）
五輪需要が動き始めている。今後の景気全体が上向き期待は大きい（製造業）
景気全般はいいかも知れないが、当社をとりまく業種は今にも雨が降りそうだ（製造業）
消費増税の実施時期に影響を受ける（製造業）
可処分所得を増やす政策を取ることで景気は上向きと思われる（製造業）
一般的に見ていると、あまりにも「部門外」の人の責任無い意見が多すぎる（製造業）
現在中小企業に関しては景況がよくない。このため来年4月からの消費税導入は延期してほしい (サービス業)
景気全般はあまり良さが感じられない（サービス業）

■ 他に、商工会議所へのご意見・ご要望などがございましたら、お聞かせ下さい。

①助成金・補助金活用や申請の説明会及びアドバイスを積極的に（製造業）
②小松に宿泊客を呼べないか、どう宣伝したらよいか教えてほしい（製造業）
③市、県、国に小松エリアの公共工事の発注量を増やし、平準化して工事を発注してほしい (建設業)
④新幹線の事業を地域に還元してほしい。地震などの対策(インフラ)をしてほしい（建設業）
⑤新幹線工事に係る推挙を具体的に提案して頂きたい（建設業）
⑥本気で話し合える場になってほしい（小売業）
⑦小松空港にLCCを導入すべき（小売業）
⑧イオンの問題に、情報提供等の取組足りない（小売・卸売業）
⑨力を入れて取り組んでいることが見えない（卸売業）
⑩企業誘致、観光の核づくり、全く官民共無策。民間主導の本来の観光協会の設立と企業誘致、販路を会議所がリーダーシップを持って推進（サービス業）

会議所コメント：

①

国・県・市各種助成金・補助金等の説明会を随時企画・実施し、会報・HPにて周知して参ります。

なお、今年7月1日施行された、「中小企業等経営強化法」についての説明・研修会を来る9月6日(火)に開催致します。詳しくは本所会報8月号チラシまたは、HPをご覧ください。

②～⑥⑨

本所の関係委員会・部会等での議論を踏まえ、全ての中小企業の発展を目的とした適切な要望・提言活動を継続的に実施して参ります。

⑦

県や小松市と連携を図り本所に設置している「空港・都市対策委員会」で研究・提言して参ります。

⑧

より一層行政との連携を密にし、会員企業の発展と地元経済振興に寄与すべく、迅速且つ積極的に対応して参ります。

⑩

行政並びに南加賀広域での連携を強化し、各種事業の実施、また本所に事務局を有する「南加賀商工観光推進協議会」においても、産業観光や観光の核となる魅力づくりの推進に力を注いで参ります。